



新型コロナワクチン接種後の 心筋炎・心膜炎について



ファイザー社とモデルナ社の新型コロナワクチン接種後に、ごくまれに、心筋炎・心膜炎を発症した事例が報告されています。特に10代・20代の男性の接種後4日程度の間が多い傾向があります。

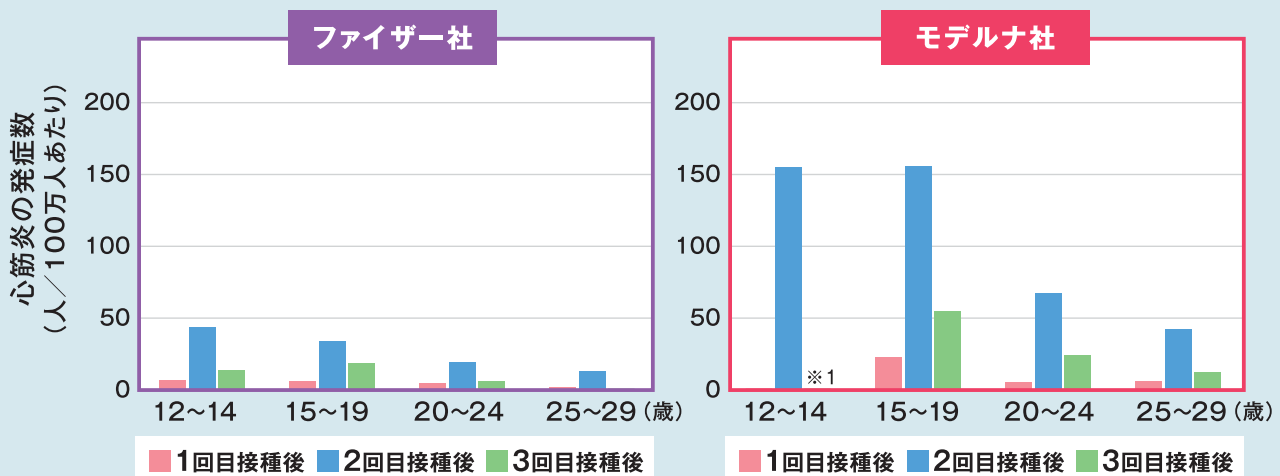
10代・20代の男性も

3回目接種を含め引き続きワクチン接種をご検討ください。

これまで、新型コロナワクチンの1・2回目接種後については、ごくまれではあるものの、10代・20代の男性でより多くの心筋炎や心膜炎を疑う事例が報告されたことをご知らせしてきました。

今般の報告により、3回目接種後は2回目接種後より頻度が低い傾向であることが確認されています。

10代・20代男性の心筋炎が疑われた報告頻度



※1 モデルナ社ワクチンによる3回目接種は、18歳以上が対象

※2 各回の報告頻度は、他の接種回で受けたワクチンの種類にかかわらず、当該回で受けたワクチンの種類ごとの頻度を示している。

出典:第82回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和4年度第8回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会(令和4年8月5日)資料から作成

■心膜炎の報告頻度については、裏面Q2の二次元コードからご覧ください。

ワクチン接種後4日程度の間に**胸の痛み、動悸(どうぎ)、息切れ、むくみ**などの症状がみられた場合は、**速やかに医療機関を受診して、ワクチンを受けたことを伝えてください。**

- こうした症状は、心筋炎・心膜炎の典型的な症状です。ただし、そのほかの原因でもこれらの症状となることがあります。医師の診察を受けましょう。
- 心筋炎・心膜炎と診断された場合は、一般的には入院が必要となりますが、**多くは安静によって自然回復します。**

新型コロナワクチンは、発症予防効果などの接種のメリットが、副反応などのデメリットよりも大きいことを確認して、皆さまに接種をおすすめしています。しかしながら、ワクチン接種は、あくまでご本人の意思に基づき受けていただくものです。ご本人または保護者の方が納得した上で、接種をご判断ください。